

令和6年度 S-TEAM 教育推進事業「社会との共創」推進プロジェクト実施要項

1 目的

生徒が実社会での課題の解決に向けて、大学や研究機関、企業、自治体等と連携しながら探究活動に取り組む機会を設定し、言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力を育成する。

2 主催

北海道教育委員会

3 内容

(1) 地域課題解決型

参加生徒が、オンラインでの講義や説明、演習等を基に、地域課題の解決に向けた探究活動に取り組む。各学校において自治体や NPO 等と関わりながら探究活動を実施する。令和7年1月に探究活動の成果発表を行い、上位に選ばれた学校を S-TEAM 教育推進事業における「探究チャレンジ・アジア」(全道成果発表会)に派遣する。

① 対象

道立高等学校、道立中等教育学校及び道立特別支援学校高等部の生徒

※対象学年は、全学年とする。

② 期日

第1回 令和6年7月26日(金)

第2回 令和7年1月7日(火)

③ 実施形態・実施会場

実施形態は Zoom によるオンライン開催とし、会場は参加者の在籍する学校とする。

④ 日程

ア 第1回

9:30 10:00 12:00 13:00 16:00

接続 確認	開会	ワークショップ・ 協議	昼食	講義・発表紹介・講演	閉会
----------	----	----------------	----	------------	----

説明・協議 探究の進め方(課題の設定)

発表紹介 昨年度の「探究チャレンジ・ジャパン」出場校の発表紹介

講義 情報の収集及び整理・分析の方法等

ワークショップ 地域の課題、改善点の洗い出し

イ 第2回

9:30 10:00 12:00 13:00 16:00

接続 確認	開会	成果発表	昼食	成果発表	講評	閉会
----------	----	------	----	------	----	----

成果発表 発表資料を画面共有し、所定の時間内(発表7分、質疑応答3分)で発表する。

※日程は、参加校数によって変更となる場合がある。

⑤ 中間発表

9月及び11月にオンラインでの中間発表、ディスカッション等を実施する。なお、「探究チャレンジ・ジャパン」に参加した道外の高校に中間発表の視聴及び質疑応答への参加を依頼する。

※実施方法等の詳細は別途連絡。

⑥ 留意事項

本プロジェクトで取り組んだ探究活動は、S-TEAM 教育推進事業における各地域での成果発表会(「探究チャレンジ〇〇・〇〇」)に申し込むことはできないこと。

(2) グローバル型

参加生徒が、オンラインでの講義や説明、演習等を基に、SDGs など地球規模の課題の解決に向けた探究活動に取り組む。各学校において探究活動に取り組んだ成果については英語で発信し、海外の高校生と交流する。令和7年1月に探究活動の成果発表を行い、上位に選ばれた学校を S-TEAM 教育推進事業における「探究チャレンジ・アジア」(全道成果発表会)に派遣する。

① 対象

道立高等学校、道立中等教育学校及び道立特別支援学校高等部の生徒

※対象学年は、全学年とする。

② 期日

第1回 令和6年7月26日(金)

第2回 令和7年1月10日(金)

③ 実施形態・実施会場

実施形態は Zoom によるオンライン開催とし、会場は参加者の在籍する学校とする。

④ 日程

ア 第1回

9:30 10:00 12:00 13:00 16:00

接続 確認	開会	講演・ ワークショップ	昼食	ワークショップ・ 発表紹介・講演	閉会
----------	----	----------------	----	---------------------	----

説明・協議 探究の進め方(課題の設定)

発表紹介 昨年度の「探究チャレンジ・ジャパン」出場校の発表紹介

講義 英語で探究活動をすることの意義

ワークショップ SDGs などの地球規模の課題について英語で考える

イ 第2回

9:30 10:00 12:00 13:00 16:00

接続 確認	開会	成果発表	昼食	成果発表	講評	閉会
----------	----	------	----	------	----	----

成果発表 発表資料を画面共有し、所定の時間内(発表7分、質疑応答3分)で発表する。

※日程は、参加校数によって変更となる場合がある。

⑤ 中間発表

9月及び11月にオンラインでの中間発表、ディスカッション等を実施する。

※実施方法等の詳細は別途連絡。

⑥ 海外の高校生との交流

成果発表会の前に、探究活動の進捗状況等について海外の高校生と英語で交流するなどの機会を設定し、オンラインで行う。

※実施方法、実施時期等の詳細は別途連絡。

⑦ 留意事項

本プロジェクトで取り組んだ探究活動は、S-TEAM 教育推進事業における各地域での成果発表会(「探究チャレンジ〇〇・〇〇」)に申し込むことはできないこと。

(3) アントレプレナー教育型

参加生徒が、オンラインでの講義や説明、演習等を基に、各学校において企業が抱える課題の解決に向けた探究活動に取り組む。各参加校において、提示された企業の課題解決に取り組むか、自分たちで調べた企業の課題解決に取り組むかを選択して探究活動を実施する。令和7年1月に探究活動の成果発表を行い、上位に選ばれた学校を S-TEAM 教育推進事業における「探究チャレンジ・アジア」(全道成果発表会)に派遣する。

① 対象

道立高等学校、道立中等教育学校及び道立特別支援学校高等部の生徒

※対象学年は、全学年とする。

② 期日

第1回 令和6年7月26日(金)

第2回 令和7年1月10日(金)

③ 実施形態・実施会場

実施形態はZoomによるオンライン開催とし、会場は参加者の在籍する学校とする。

④ 日程

ア 第1回

9:30 10:00 12:00 13:00 16:00

接続 確認	開会	説明・講義	昼食	協議・対談・発表紹介	閉会
----------	----	-------	----	------------	----

説明・講義 企業の現状と課題、企業計画書(ビジネスプラン)の作成

協議・対談 企業が抱える課題の解決の方向性

発表紹介 昨年度の「探究チャレンジ・ジャパン」出場校の発表紹介

イ 第2回

9:30 10:00 12:00 13:00 16:00

接続 確認	開会	成果発表	昼食	成果発表	講評	閉会
----------	----	------	----	------	----	----

成果発表 発表資料を画面共有し、所定の時間内(発表7分、質疑応答3分)で発表する。

※日程は、参加校数によって変更となる場合がある。

⑤ 中間発表

9月及び11月にオンラインでの中間発表、ディスカッション等を実施する。なお、「探究チャレンジ・ジャパン」に参加した道外の高校に中間発表の視聴及び質疑応答への参加を依頼する。

※実施方法等の詳細は別途連絡。

⑥ 留意事項

本プロジェクトで取り組んだ探究活動は、S-TEAM教育推進事業における各地域での成果発表会(「探究チャレンジ〇〇・〇〇」)に申し込むことはできないこと。

(4) 科学技術活用型(学校活動型)

高等学校において実施している、科学技術を活用したゼロカーボンの実現など、実社会における課題の解決につなげるための課題研究を募集する。令和7年1月に、応募があった課題研究の発表会を行い、上位に選ばれた学校をS-TEAM教育推進事業における「探究チャレンジ・アジア」(全道成果発表会)に派遣する。

① 対象

次の全てを満たすものとする。

- ・自然科学の知識や科学技術を活用して、ゼロカーボンの実現など実社会の課題解決につなげようとする課題研究であること。
- ・他のコンテスト等で発表していない課題研究であること。(S-TEAM教育推進事業における各地域での成果発表会(「探究チャレンジ〇〇・〇〇」)と重複して申し込むことはできないこと。)

※教育課程内で実施した課題研究であるか、教育課程外で実施した課題研究であるかは問わない。

② 発表会期日

令和7年1月7日(火)

③ 実施形態・実施会場

実施形態は Zoom によるオンライン開催とし、会場は参加者の在籍する学校とする。

④ 日程

9:30 10:00 12:00 13:00 16:00

接続 確認	開会	課題研究発表	昼食	課題研究発表	講評	閉会
----------	----	--------	----	--------	----	----

課題研究発表 発表資料を画面共有し、所定の時間内（発表 7 分、質疑応答 3 分）で発表する。

※日程は、参加校数によって変更となる場合がある。

4 参加申込

- (1) 参加を希望する生徒は、【参加申込書・保護者承諾書】（別紙 1）に必要事項を記入し、学校へ提出すること。なお、複数の学校と合同して参加を希望する場合、及び「地域課題解決型」、「アントレプレナー教育型」への参加を希望し、【生徒の探究活動への支援が可能な企業等一覧】（別紙 4）の企業等との連携を希望する場合は、別紙 1 の所定の欄に必要事項を記載すること。
- (2) 参加を希望する学校は、別紙 1 をとりまとめ、【学校申込書】（別紙 2）を 5 の期日までに、6 の申込先へ電子メールで送付すること。なお、別紙 1 は各学校において保管すること。
- (3) 地域課題解決型、グローバル型及びアントレプレナー教育型の申込については、原則、1 グループ 3～5 名とすることとし、それぞれ 1 校につき 3 グループまでの申込とすること。
- (4) 科学技術活用型（学校活動型）の申込については、原則、1 グループ 5 名以内とし、1 校につき 2 グループまでの申込とすること。
- (5) 科学技術活用型の申込については、(2)に加え【発表要旨】（別紙 3）を 5 の期日までに、6 の申込先へ電子メールで送付すること。
- (6) 申込の状況によっては、抽選により参加者を決定する場合がありますので、御了承願う。

5 申込期日

- (1) 地域課題解決型 令和 6 年 6 月 24 日（月）
- (2) グローバル型 令和 6 年 6 月 24 日（月）
- (3) アントレプレナー教育型 令和 6 年 6 月 24 日（月）
- (4) 科学技術活用型（学校活動型）【学校申込書】（別紙 2） 令和 6 年 11 月 28 日（木）
【発表要旨】（別紙 3） 令和 6 年 12 月 13 日（金）

6 申込先（学校から教育局）

教育局高等学校教育指導班

※教育局から高校教育課への提出については、学校からの申込受付後、直ちに企画担当あて行うこと。

7 持ち物

筆記用具、その他各自必要なもの

8 その他

- (1) 地域課題解決型、グローバル型及びアントレプレナー教育型の参加者については、7 月上旬までに決定し、参加希望校あて連絡する。
- (2) 第 1 回オンラインセミナーについて、教職員が傍聴を希望する場合は、【教職員傍聴申込書】（別紙 5）を上記 5 の期日までに、6 の申込先へ電子メールで送付すること。